

第1学年 音楽科

1、学習のねらい及び使用教材

- ・音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊なものにする態度を育てる。
- ・多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じとり、基礎的な表現の技能を身に付け、創意工夫して表現する能力を育てる。
- ・多様な音楽のよさや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞する能力を育てる。

教科書：中学生の音楽1、中学生の器楽

2、評価の観点及び方法

音楽への 関心・意欲・態度	音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽に対する関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	・日頃の授業態度 ・提出物 ・試験の一部の項目の点数から総体的に評価する。
音楽表現の 創意工夫	音楽がつくっている要素を感じ、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を理解し、音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いや意図をもつている。	・質問に対して、積極的に発言しようとしている。 ・試験の一部の項目の点数から相対的に評価する。
音楽表現の 技能	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	・リコーダーの実技試験及び試験の一部の項目の点数から評価する。
鑑賞の能力	音楽をつくっている要素を感じ、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を理解しながら、解釈したり価値を考えたりして、多様な音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	・鑑賞教材のときに、感想などを書かせ、判断材料として評価する。

3、学習計画

各单元と主な内容		評価の具体例
1 学期	歌唱「forever」 歌唱「主人は冷たい土の中に」 鑑賞「春」「映画音楽」 アルトリコーダー 「喜びの歌」「聖者の行進」	【 歌唱 】 ・歌唱活動に主体的に取り組もうとしている。 ・ハ長調の階名で正しく歌っている。 【 鑑賞 】 ・曲の構成に気を付けながら、曲想の変化を感じ取って聴く。 【 器楽 】 ・ソプラノリコーダーとの違いに慣れる。
2 学期	合唱コンクールの取り組み 歌唱「星座」 鑑賞「魔王」 アルトリコーダー 「オーラリー」「エーデルワイス」	【 歌唱 】 ・合唱を始めて行う上で、上と下声部のバランスを互いに 聴き合っている。 ・曲のまとまりやハーモニーの変化を感じ取って合唱できる。 【 器楽 】 ・低いソの音からファの音までの運指を理解し、その成果を 音楽に表せている。
3 学期	歌唱「浜辺の歌」 歌唱「赤とんぼ」 歌唱「マイバラード」 鑑賞「アジア諸民族の音楽」「六段の調」 箏曲 「さくら さくら」	【 歌唱 】 ・曲想を感じ取って、速度や強弱の変化を生かした表現 を工夫できている。 【 器楽 】 ・四分三拍子を意識して演奏できている。また、ドから高 いレの音を正しく吹けている。 【 箏 】 ・箏の構造などを理解し、平調子の音階を奏すことができる。

4、学習方法についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> 教科書（2冊）、筆記用具は必ず持ってくる。 歌唱のときは、腹式呼吸を実践しているが、正しい姿勢でお腹から声を出す ように意識する。 鑑賞教材のときは、感想を必ず書く課題をするので、自分が感じたことを まとめられるようにする。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> 日頃からたくさんのジャンルの音楽を聴くようにする。 j-pop だけでなく、クラシックやジャズ、ラテン音楽など世界のたくさんの 音楽をインターネット等で聴いてみる機会を持つ。